

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年3月

事業所名：仙台市サンホーム

保護者数 46人 回収数39枚 回収率 84.8%

	チェック項目	はい (%)	どちらともいえない (%)	いいえ (%)	わからない (未記入) (%)	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31 (79.5%)	8 (20.5%)			<ul style="list-style-type: none"> ・少々狭いかもしれないが工夫して広々使えるようになっている。 ・部屋の面積のわりに人数が多く、子ども同士がぶつかって泣くことが頻繁にあった。 ・子どもが楽しく踊ったりすると他児にぶつかることもあり、少し狭い気がする。 ・活動や運動量の多い子どもたちには狭いかもしれない。 ・人数が増えると子ども、親、先生で狭く感じることがある。 ・子どもの人数に対して部屋が小さいような気がする。最初はいいがだんだん人数が増えてくるので、 ・もう少し広くてもよい。男の子なので走り回れるアーチルが楽しそうだった。 ・クラスの数程度にはちょうどよいスペースだと思う。 ・毎度、とても楽しそう。 ・「はい」と答えたが、部屋によっては少し狭く感じる。 ・人が多いとき、おもちゃを広げるときなどは狭く感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員1日30名のため1クラス10名Maxで3クラス編成である。母子のほか預けられないきょうだい児も含めると7月以降の児童数増加に伴い、保育室内の人口密度が高くなる。部屋数も少なく個別面談での使用頻度も高いためクラスを分けての療育活動は現実的ではない。安全な療育活動のためには、園庭の活用頻度や散歩の増加など活動プログラムの工夫を実施していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	34 (87.2%)	3 (7.7%)	2 (5.1%)		<ul style="list-style-type: none"> ・だんだん子どもの人数が増えてくるので先生が足りなくなると感じる。目が届かないのではないかと不安や子どもが気づいてもらえない時もある。卒園に向けて母子分離をする時に先生を補充してもらえればよいと思うが、先生の人数を考えると難しいと思う。 ・子どもの苦手なところをみてくださり、支援を適切にしてくださいと思う。 ・先生方がもう少し多くいると満足。 ・たまに手が足りていない時もあると感じる。 ・新しく入ってくる時期はさらに忙しそうなので、どうなのでしょう？ ・定員の人数だと適切かと思うがきょうだいを連れてくる子どもが少ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足は他園と共通する問題であり、継続的な公募を継続している。 ・限られた人員体制の中では、療育・支援スキル向上とチームアプローチに努め安全性を確保している。衝動性や活動性の高い児童については、フリー職員を加配し、特性に応じた個別課題の工夫やバーテーションを活用した空間の分離などに取り組んでいる。（情緒の安定がみられてきた事例もある。） ・学生等のボランティア参加により教材作成等を担ってもらうことで保育士の療育外業務の軽減につながっている。 ・預け先がないきょうだい児については保護者主体で育ててもらっているが、乳児の安全性や対象児に保護者が向き合う時間の確保から保育士が療育と並行しての託児を余儀なくされている。今後は、託児要員の要望なども含め、再検討していく予定である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34 (87.2%)	4 (10.3%)		1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図を使ったり集中しやすいようにバーテーションを立てる等、工夫されている。 ・空間は工夫されている。 ・児童館と入口が同じでいつも児童館に行ってしまうことが多い。入り口を別々にしてほしい。本人はわかりづらい。 ・段差もなく、エレベーターもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に応じた視覚的な教材（カードやスケジュールの提示）や空間の構造化などを取り入れ、わかりやすく、過ごしやすい環境の工夫に努めている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	37 (94.9%)	1 (2.6%)		1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・別の活動をする時は本等、目隠ししてくれるのでよかった。 ・清潔で子どもの活動に合った空間だと思う。 ・毎度、とてもきれい。（2） ・トイレの汚れが時々気になった。（他のクラス使用後のときのみ） ・トイレの下のほうの汚れがたまに気になることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育開始前後に清掃を実施している。なおご指摘のあったトイレについては丁寧な清掃と管理に努めていきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画Ⅱが作成されているか	38 (97.4%)			1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよく分析されていてありがたかった。 ・子どもの様子をしっかりみてくださり、どうしていくとよいか、よく考えて計画を作っていた。 ・課題をよく分析して適切な計画を作成してくれる。（2） ・先生たちはとても相談のってくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より適切なニーズや課題の把握やアセスメントのために、療育会議の中で職員の共有を図り、経験別の違う職員の資質向上にも役立てている。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32 (82.1%)	1 (2.6%)		6 (15.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に選択されており、今後どういった支援をしていこうとしたいのかがわかりやすく設定されていた。 ・保護者にとって現状のわが子に必要なサポートが受けられるかが重要な点であって「計画に沿っているか」や「どんな項目が選択されているか」はどれもよいこと。子どもの成長は予想や計画どおりにはいかない。一つ成長しても一つ困りごとが出てくる。もちろんガイドラインを示すことは必要だと思うが保護者が評価することではない気がする。 ・ガイドラインの存在がふりかえってみるとよくわからず、適切な選択はわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学やオリエンテーション時から「発達支援」「家族支援」「地域支援」について強調している。それに則って、特性に応じた療育内容の提示、保護者勉強会や保護者面談等企画、進路先への引継ぎなどを実施していることを周知している。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33 (84.6%)	2 (5.1%)		4 (10.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進めないことがある。 ・行われていると思う。 ・先生の計画の理解度によりさまざまであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進んでいないと感じている保護者もあり、その要因や背景について分析するために、より丁寧な個別面談を実施していく。また、職員間の差については、今後OJTを通して人材育成を強化していく予定である。
	8 活動プログラムⅢが固定化しないよう工夫されているか	35 (89.7%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日はこれをしよう、あれをしよう毎回工夫して準備してくださっている。 ・毎回工夫され楽しんでいる。 ・いろいろな子どもの刺激になるような活動が設定されている。 ・たくさんいろいろなことを体験している。 ・通う期間が長いとどうしてもマンネリ化してしまう。 ・同じことをやったりすることもある。 ・固定化すること時には必要だと思う。 ・苦手、得意分野を偏りなくプログラムにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のプログラムは、子どもの発達段階や特性を考慮し、個々のねらいを重視して組み立てられている。保護者勉強会では、発達と遊びの関連性、感覚統合の大切さ、遊びの種類と意義、自己肯定感を育む声掛けの重要性などを伝えていく。同じ遊びをくり返し実施し成功体験や達成感を育む、ステップアップした内容でさらなる成長を引き出すなど成長過程に応じた活動内容を工夫している。

	9	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や療育のない子どもと活動する機会がある。	8 (20.5%)	18 (46.2%)	13 (33.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところまだそんな機会はない。 ・まだそういった活動機会がないため評価できない。 ・私たちの通った半年間にはなかったが年間行事にあるのかも。(2) ・10月入所だが1度もなかった。10月前にあったかはわからない。 ・交流は普段できるのでサンホームでは必要ないと思う。 ・必要性はあまり感じていない。 ・子どもがお友だちと遊びたいと思ってもなかなか遊べなかったり、トラブルがあったりで遊べない。いろいろな子がいるという経験させたい。普通に遊べる機会があればと思う。 ・子どもたちの交流はなかったが、先生同士はやりとりがあるようだ。 ・保育所に見学に行ったときのみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度後半、近隣保育園との交流保育を検討中である。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35 (89.7%)	2 (5.1%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前にオリエンテーションがあり、詳しく説明していただいた。(2) ・見学時に園長から細かく説明をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の丁寧な説明を基本とするが、情報量が多いと混乱しやすいので内容の受け止め方を確認しつつ、後日の補足説明も実施している。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	34 (87.2%)	1 (2.6%)	4 (10.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を確認しながらどういった支援が必要でねらいがあるのか、わかりやすく説明していただいた。 ・見学時に園長から細かく説明をいただいた。 ・ガイドラインはよくわからないが支援内容はいいに説明いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容については、子どもの特性や保護者の受け止め方に配慮しながら、具体的なかつわかりやすい説明を心がけている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（おペアレント・トレーニング等）が行われているか	32 (82.1%)	5 (12.8%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのトレーニングは子育てをする上でとても参考になり、子どもや自分をみつめる良い機会になった。 ・どのように考えていいたらよいか、また接していいたらよいか、その都度アドバイスをいただき、ありがたい。 ・自分の子どもの特性にあわないこともあるのでどちらともいえない。 ・ここに通ってなかったらわからなかったこと等を教えていただけてとてもよい機会だった。 ・ペアレントトレーニングを詳しく学びたかった。父に対するトレーニングも増やしてほしい。 ・最後に月1で勉強会があり助かっている。 ・ペアレントプログラムの考え方という勉強会は12月やりましたがとりあえずやったという感じで家族支援という感じはあまりしなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市主催のペアレントプログラム研修受講後の職員が保護者勉強会の中で「ペアレントプログラムの考え方」について紹介した。次年度以降には受講済み職員も増加するため、系統的に実施していけるよう検討していきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通の理解ができているか	37 (94.9%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも親身に話しかけてくれ共通理解ができている。 ・ちょっとした時に声掛けいただき、子どもの状態を伝えてくれる。普段から共通理解ができている。 ・母子分離の時間の後に、子どもの様子を細かく教えていただいている。 ・担任とのコミュニケーションをとるのに気を使った。少し不適切な対応をされているのではないかと感じ、申し入れをしたら改善した。 ・おおむねできていたと思う。年度後半には他施設（幼稚園やこども園）に移動のため、お話しする機会が減った。 ・偏食があり、あるものを食べられるようになって、2回目に食べたとき「朝ごはん食べてきた？」と言われ、いい気分はしなかった。（うちの子は朝ごはんは必ず食べます。三食ちゃんと食べます。食べ終わるまでつきあいます。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の共通理解については、通常療育や面談時に丁寧なコミュニケーションを心がけている。おおむね保護者との関係性が良好ではあったが、中には職員と保護者の認識のずれが生じている場面もあった。クラス担任以外の主任が入り、丁寧に傾聴し、保護者の誤解を解いていったことで解決した。なんでも話しやすい雰囲気づくりを大切に、保護者の受け止め方も確認しながら小さな誤解は早期に解決していきたい。
	14	定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36 (92.3%)	2 (5.1%)	1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・助言等の支援をいただいているおかげで不安だった育児に対して少しずつ前向きに向き合えるようになった。 ・しっかり行われている。(2) ・手の届かない子だと後回しになりがちでこちらから質問しないと助言等がないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育の振り返りや随時の面談などを通して前向きな子育てへの支援を実践しているが、「手の届かない子だと後回しにされたしまった」と感じさせてしまったこともあり、より積極的な声掛けを心がけている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33 (84.6%)	4 (10.3%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園した頃から保護者同士の連携が取れている印象。実際入園し参加してみると先生方の支援もあり、しっかり連携が取れていると感じた。 ・ストレス発散の場所としてもありがたく思っていた。 ・情報交換もでき、連携も十分に支援されている。 ・機会はあるものの連携が深まるころまでは難しい。 ・親同士のしゃべり会が先日あった。 ・父母に向け、またきょうだいも日々の療育に参加できたり、多方面からアプローチしていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者によってはゆるやかにつながりたいと願う保護者もいるため、保護者の意向にも配慮しつつ支援していきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	34 (87.2%)	2 (5.1%)	1 (2.6%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝や帰るとき等、いつでも先生方が話を聞いてくれる。ありがたい。 ・何かあった際には丁寧に説明いただけたと思う。 ・あまり相談したことがないのでわからない。 ・園の予定以外で個別面談の機会がなかったのだからない。 ・いつも適切に対応されていて安心できる。 ・相談ののってくださる先生がほとんどだが、「そーでか？」で終わったり、「考えておきます」と言われたのに返事がなかったりすることもあった。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36 (92.3%)	2 (5.1%)	1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいように配慮された上で意思疎通や情報伝達が行われていると思う。(2) ・忙しいと十分な時間がとれず、わからずに終わることもある。 ・初めて食べたものがあったときに休んだ先生に、他の先生が伝えていなかったようで2回目に食べたときにちょっと嫌な気持ちになったことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若干名ではあったが、保護者との意思疎通不足があったようなので、今後は保護者がどう受け取ったかを確認しつつ補足説明できるよう心がけていきたい。 ・療育日の出来事についての職員間の引継ぎ不足の指摘については、真摯に受け止め、職員間の丁寧な情報伝達を実施していきたい。 	

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	34 (87.2%)	4 (10.3%)	1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・発信されていると思う。 ・ホームページをみたことがないのでわからない。 ・業務に関する自己結果についてはないと思う。 ・自己評価の結果とは何のことかわからない。 ・誰の自己評価か？ 園側の体制などの話はさりげなくあったがそういう場面を設けてあったかはわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の園だより、2か月に1回の保健だよりを発行（子育て参考本の紹介含む）している。月のスケジュール（行事・遊びの種類と準備）については手渡し時に説明を加えて配布している。業務の自己評価については掲示やホームページで公開しているが、ホームページの存在を認識していない方もいるため公開時期も周知するようにしたい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	39 (100%)			<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意された上で取り扱われている。 ・しっかり行われている。 ・説明があった。写真や名前には配慮があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に個人情報の取り扱いに対する承諾書を作成しているほか、文集やアルバム作成時には再度同意書に記載してもらっている。 ・保護者による園活動時の写真撮影は遠慮してもらうよう周知している。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	37 (94.9%)	2 (5.1%)		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施があり、しっかりと対策がされている。また、感染症に対する対応について周知されている。 ・2か月に1度ある。 ・訓練の日は地震ごっこが家でも多くなってしまふ。仕方ないことだが何か対策があったら助かる。 ・防災訓練がよくあった。周知は玄関にお知らせがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練の開催、二次避難場所、地震や火災発生時の行動については、オリエンテーション時に具体的に避難経路図を提示して説明をしている。 ・町内会の災害時対応の会議に出席し、地域防災の役割や段取りを確認している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	38 (97.4%)	1 (2.6%)		<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされている訓練は行われており、子どもたちが困ることのないよう対策が練られている。 ・行われている。(2) ・訓練の日は地震ごっこが家でも多くなってしまふ。仕方ないことですが何か対策があったら助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防の立ち合いによる総合訓練、児童館と合同の不審者対応訓練、感染症（ノロウイルス等）による嘔吐処理訓練などを計画・実施している。 ・職員全員が年1〜2回子どもと大人の救急蘇生とAEDの操作訓練を実施している。 ・緊急時にAEDを借用できるような近隣機関と連携を密にし、万が一の準備をしている。 ・災害時を想定し、災害用食品や飲料、防寒用品などを常備している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	39 (100%)			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しそう。 ・初めは嫌だったが今では駐車場につくと「おひる」と体を動かす。 ・嫌がるときもあったが行くととても楽しそうだった。 ・通所でない日も行きたいというほど楽しみにしている。子どもにとってもよいメリハリになっている。 ・親子ともども楽しみにしていた。 ・親も楽しく遊わせていただいた。 ・うちの子は先生が大好きで休みの日も「サンホームに行きたい」と言っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい場所や人に慣れるのに時間を要する子どもたちであるため、その特性に配慮し、楽しく遊べる環境づくり、楽しさを共有するかわり、クラス担任との信頼関係の構築などを重視し、「楽しんから、また来たい。」という意欲や動機を促すよう支援している。 ・興味関心のある遊びを通して得意なことや苦手なことを保護者と共有して、わかりやすいツールを活用、工夫して見通しをもった遊びができるよう支援している。 ・発達的基础となる感覚遊びや身体を使った遊びを取り入れ、個々の発達に応じたプログラムを作成している。 ・友だちとのやりとりを意識したかわり（思いや気持ちの代弁）を意図した遊びを展開している。 ・職員が一丸となり、将来の基礎となる乳幼児期の自己肯定感の向上をめざして、丁寧なかわりを保護者とともに実践している。
	23	サンホームの支援に満足しているか	38 (97.4%)	1 (2.6%)		<ul style="list-style-type: none"> ・大満足している。 ・先生方の対応やお人柄もよく、ここに通って本当によかった。親子ともども成長させていた。 ・先生方皆様、ていねいに対応いただき本当にありがたかった。多くのことを親子ともども学んだ。 ・すごく丁寧な育児を教えてもらっている。子どもですが母にとってもとても勉強をさせていた。 ・いろいろ話を聞いてもらいアドバイスももらったり、勉強会があったりと助かっている。 ・丁寧な説明、対応をしていただき、親子ともども満足している。通所できることになり感謝している。 ・感謝の一言。(2) ・とても満足、ありがた。 ・午前で終わったり、月によっては休みの日が多かったりするのでペースが乱れることもある。基本的にはこのような支援は心強いし、感謝している。先生方も忙しい中大変だろうと感じる。頼りたいと思っている分、先生方にゆとりや安心感を求めてしまふ。 ・大満足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね満足感をもって通園していることから今後も丁寧、かつ保護者の心情をもくみ取ったかわりを心がけていきたい。保護者は心の葛藤を抱えて入園し、卒園時にはわが子をありのままに受け入れ、前向きな子育てが可能になっていく。母子ともに成長を実感し、それを自覚・表現できるように保護者支援を大切にしていきたい。また、保護者の受け止め方の中で小さなすれに気づいたら、早期に解決していく姿勢で取り組みたい。

(注釈)

I 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、朝の身支度や遊びのスペースをパーティションで区切るなど、子ども本人にわかりやすくすることです。

II 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

III 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。